

【情報公開文書】

令和6年能登半島地震における珠洲市からの広域避難者の転帰と地域保健医療福祉への影響に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2024年（令和6年）1月1日に発生した令和6年能登半島地震の後、2024年1月1日から2024年3月31日までの間に、珠洲市から市外（1.5次避難所、2次避難所、市外の病院や福祉施設など）へ避難された珠洲市民の方

2. 研究目的・方法

令和6年能登半島地震では、高齢化率の高い珠洲市から、多くの方が市外へ避難（広域避難）されました。この研究は、市外へ避難された方々のその後の状況（珠洲市へのご帰還、避難先での生活の継続、ご逝去など）を調査するとともに、多くの方が市外へ避難されたことが、珠洲市の保健・医療・福祉（介護保険のサービスや認定の状況など）にどのような影響を与えたかを明らかにすることを目的としています。

この研究の成果は、高齢の方が多い地域で災害が起きたときに、医療と福祉が一体となった支援のしくみを整えるための大切な資料となることが期待されます。

研究では、珠洲市が保有している記録（避難に関する名簿や介護保険に関する情報など）をまとめて分析します。新たに皆さまに検査やアンケートをお願いすることはありません。お名前やご住所などは削除し、研究用の番号に置き換えたうえで分析します。

研究実施期間：研究実施許可日～2029年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年7月27日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、要介護度、病歴（避難時の搬送理由）、避難前にいらした場所（避難所・福祉施設・ご自宅）、避難先、避難や帰還の時期、生死に関する情報、介護保険サービスの利用状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

この研究では、珠洲市健康増進センターが保有する情報を、秋田大学大学院医学系研究科に提供します。提供にあたっては、個人が特定できないよう、お名前やご住所などを削除し、研究用の番号に置き換えたうえで、パスワードを設定した電子ファイルを暗号化した記録媒体に保存し、手渡しまたは追跡可能な方法（書留郵便等）により提供します。

番号とお名前などを照合できる対応表は、珠洲市健康増進センターの担当者が責任をもって保管・管理し、珠洲市健康増進センターの外へ持ち出すことはありません。

5. 研究組織

【研究機関】

秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 奥山 学（研究責任者・研究代表者）

【既存の情報の提供のみを行う機関】

珠洲市健康増進センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて、ご本人もしくはご本人の代理人の方（ご家族・ご遺族を含みます）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、ご本人やご家族に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：下記研究責任者

研究責任者：

秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 准教授 奥山 学

住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道一丁目 1-1

電話：018-834-1111（代表）

E-mail：okuyamanabu@med.akita-u.ac.jp

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久